

1. 生活情報科の目標

家庭生活及び情報に関する基礎的、基本的な知識、技術を習得させ、家庭生活及び情報に関する職業に従事し、広く社会に貢献する人材を育成すると共に、生活を向上させ創造する能力と態度を養う。

- ①北部地域や時代のニーズに対応する教育内容にし「家庭情報処理」、「生活情報処理」、「課題研究」、「住居」、「生活教養」等の科目を設けた。
- ②生徒の興味、関心、進路等に弾力的に対応するため2学年よりコース制を設けた。
- ③普通科目は1学年に重点を置き、2学年、3学年は専門科目が多く履修できるように編成した。
- ④家庭総合は、専門科目の基礎的科目なので、専門科目の共通履修科目と共に1学年に履修させ、2学年よりコースの専門科目を多く設定した。

2. 資格・検定及び課外講座

- ・被服製作技術検定 4級～1級、7月・11月に実施する。
検定に向けての取り組みは、授業や放課後を利用して行う。
- ・食物調理技術検定 4級～1級、7月・11月に実施する。
検定に向けての取り組みは、授業や放課後を利用して行う。
- ・ビジネスマナー検定 3級～1級、7月・11月・2月に実施する。
検定に向けての取り組みは、授業や放課後を利用して行う。
- ・色彩検定 3級、6月に実施する。
検定に向けての取り組みは、放課後を利用して行う。
- ・パソコン検定 5級～3級、5月・7月・2月に実施する。
検定に向けての取り組みは、授業や放課後を利用して行う。
- ・計算技術検定 4級、6月・11月に実施する。
検定に向けての取り組みは、放課後を利用して行う。

3. 教科書名と補助教材

教科書・補助教材	出版社	使用学年	備考
家庭総合 明日の生活を築く	開隆堂	1学年	※機械科・建築科・電気科は2・3年に使用する。
家庭科実習ノート	沖縄県高等学校 家庭科教育研究会	1学年	
高校生のための 生活学	大修館書店	1学年	
生活産業基礎	実教出版	1学年	

漢字のパスポート	九州・山口各県高等学校国語研究会	1 学年
徹底反復計算プリント	小 学 館	1 学年
新版 私たちの エチケット	教育図書	1 学年
ビジネスマナー検定 3 級テキスト	株式会社 英光社	3 学年
ビジネスマナー検定 3 級問題集	株式会社 英光社	3 学年
こどもきせつの ぎょうじ絵じてん	三 省 堂	3 学年
沖縄の祭りと行事	沖縄文化社	3 学年
沖縄の文化財	沖縄文化社	3 学年
新指導要領対応版「情報とコンピュータ」	旺文社	1 学年
パソコン検定で学ぶ高校生の情報活用	旺文社	2 学年
パソコン検定試験対策 テキスト 4 級	旺文社	1・2 学年
パソコン検定試験対策 テキスト Excel4 級	旺文社	1・2 学年
パソコン検定試験対策 テキスト 3 級	旺文社	2・3 学年
パソコン検定試験対策 テキスト Excel3 級	旺文社	2・3 学年
ファッションデザイン	実教出版	2・3 学年

被服製作	実教出版	2・3学年
家庭科問題集	全国高等学校家庭科 教育振興会	2・3学年
服飾文化	文部科学省	2・3学年
フードデザイン	教育図書	2・3学年
NEW VISUAL 食品成分表	教育図書	2・3学年
発達と保育	実教出版	2学年
発達と保育学習ノート	実教出版	2学年
被服 新訂版	実教出版	2・3学年
ビジュアルワイド 食品成分表	東京書籍株式会社	2・3学年
食材図典	小学館	2・3学年

4. 評価の方法

評価は1、2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価でだされる。評価の基準としては、定期考査（中間考査・期末考査）、臨時考査（豆テスト・実技テスト・タイピング計測）、提出物（プリント・被服製作作品・ホームプロジェクト・ノート・レポート・フロッピーディスク）、日々の授業態度（実習態度も含む）や被服製作進捗状況、また、出席状況を見る。

①基本的に座学を行う科目（生活産業基礎・生活教養・食品）

テスト	50%	提出物	40%	態度・出席	10%
-----	-----	-----	-----	-------	-----

②実習を伴い、座学の多い科目（家庭総合・発達と保育）

テスト	60%	提出物	30%	態度・出席	10%
-----	-----	-----	-----	-------	-----

③座学を伴い、実習の多い被服系科目（ファッションデザイン・服飾文化）

テスト	40 %	提出物	50 %	態度・出席	10 %
-----	------	-----	------	-------	------

④座学を伴い、実習の多い食物系科目（フードデザイン・調理）及び
情報科目（家庭情報処理・生活情報処理）

テスト	60 %	提出物	20 %	態度・出席	20 %
-----	------	-----	------	-------	------

⑤実習科目（服飾手芸）

出席	10 %	提出物	80 %	態度	10 %
----	------	-----	------	----	------

5. 学習方法

- ①座学の時は、教科書、筆記用具、ファイルを持って授業に参加する。
- ②実習の時は、火気、用具、材料の取り扱いに注意し、用具を揃えて速やかに実習が行えるようにする。
- ③情報科目においては、フロッピーディスクやテキスト等を揃えて着席し、すぐに授業が行えるようにする。

6. 授業への臨み方

- ①授業中のおしゃべり、居眠りは絶対にしない。
- ②授業中の携帯電話の電源は切っておくか、マナーモードにしておく。携帯電話を鳴らしたり、メールをした場合は取り上げる。
- ③授業中の化粧や飲み食いは絶対にしない。
- ④授業中のトイレは我慢する（休み時間に行く）。
- ⑤授業中に鉛筆やノートを買いに行かない。
- ⑥自習時間は、他のクラスに迷惑にならないように静かに課題に取り組み、提出する。
- ⑦社会人講師による講話の際には、快いあいさつを心がけ、きちんとした態度で話を聞くこと。
- ⑧情報科目では、実習を多く取り入れた学習を行う。できるだけ欠席しないように心がけ、積極的に取り組むこと。
- ⑨わからないことはそのままにせず、遠慮しないで質問し、その場で解決するようにすること。また一度聞いたことはメモをとり、ファイルへ綴っておくこと。
- ⑩機器の操作等に余裕のある人は、周囲の困っている人をサポートすること。但し、代わりに課題を作成してはいけない。
- ⑪教室内の機器は、少しのホコリや菓子くず、油脂などでも故障の原因になる。よって、飲食物、化粧品、被服の課題作品等の持ち込みは禁止とする。

- ⑫課題に必要なものを印刷する際には、必ず教科担当の許可を得ること。
 - ⑬実習中心の授業日でも、筆記用具は必ず持参すること。
 - ⑭タイピングのコツは毎日続けることです。放課後等のパソコン室開放時間を利用して各自練習するようにしよう。
- ※⑧以降は情報科目に関するものです。